

# せんなん感染症情報 令和7年7月号

宮城県仙南保健所

## 仙南保健所管内の全数報告疾病

(宮城県感染症発生動向調査 第22週～第26週(R7.5/26～R7.6/29)より)

- 1類感染症：報告なし、 2類感染症：結核(無症状病原体保有者)男性1名  
3類感染症：報告なし、 4類感染症：報告なし  
5類感染症：百日咳(男性8名、女性2名)



仙南保健所オリジナルキャラクター  
「てあらっこ」

## ～注意が必要な感染症～

## 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症とは・・・

「ベロ毒素」という毒素を産生する大腸菌の感染症です。腸管出血性大腸菌(O-157 など)に汚染された飲食物や加熱不十分な肉の摂取のほか、汚染された手を介して間接的に口に入る経口感染です。

気温が上昇する夏季に食中毒などにより患者数が増加します。



### 【潜伏期間と症状】

潜伏期間:数日間(2～5日が最も多い)

症状:頻回の下痢、血便、激しい腹痛、発熱、嘔吐、嘔気など

### 【症状があるときは・・・】

- ・早めに医療機関を受診しましょう。
- ・入浴はシャワー等で済ませ、湯船に浸からないようにしましょう。
- ・タオルは共用せず、個別のものを使用しましょう。

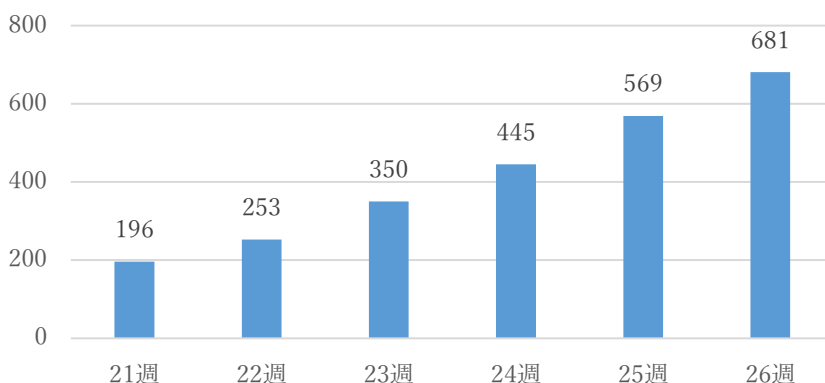
### 【予防のポイント】

- ・菌をつけない → 調理や、食事の前、トイレ使用後など、石けんと流水で手洗いをしましょう。
- ・菌を増やさない → 調理器具は洗剤で洗い、熱湯等で消毒しましょう。食品は冷蔵保存(10℃以下)しましょう。
- ・菌をやっつける → 食品は十分に洗い、中心部までよく加熱(75℃以上で1分間以上)しましょう。



## 百日咳の流行が続いています

県内の百日咳患者累計報告数(令和7年)



第26週の報告で、5～14歳の患者が約7割を占めていますが、他の年齢でも報告されています。

管内でも患者数が増えており、家族内での感染や、高齢者の感染も報告されています。

- ・咳が長引く場合は早めの受診を心がけましょう。
- ・ワクチン接種や手洗い・咳エチケットなど、日常生活での感染予防を意識して行いましょう。

宮城県感染症発生動向調査【週報】はこちらから



せんなん感染症情報はここから

